

子供たちに寄り添う

教頭 安田 祐子

デルタ株の感染症が収まりつつあるかと思いきや、オミクロン株の出現に翻弄される毎日ですが、保護者の皆様には子供たちが学校生活を送れるようにするために、各家庭で対策を施しながら日々ご尽力いただいていることに感謝申し上げます。私たちが感染症拡大防止に知恵を出し合って行動しているように、子供たちはこれからの社会をよりよく生きるために、考える力を身に付けることが必要です。そのためのヒントとなる本を見付けたので、一部抜粋し、ご紹介します。



「アリは高いところから落ちてでもどうして平気なの？」と聞かれたとしましょう。私なら「どうしてだろうね」と一緒に考えてみます。「他のモノは壊れちゃうのに、アリは大丈夫だったんだよ」と言うのなら、「じゃあ、トマトを落としてみよう」と提案し、トマトとアリを一緒に落としてみるかもしれません。また、いろいろな高さから落としてみるかもしれません。

このような実験と一緒に体験することで高いところから落ちて大丈夫なもの、大丈夫じゃないもの、その条件などについて子どもと一緒に考えるのです。さらに、トマトと違ってアリは高いところから落としても平気だという「実験」をするかもしれません。

そのようにして、子どもと対話しながら答えを一緒に考えるのです。同じ問題でも条件が違えば結果が異なってくるということを、実際に試してみることで子ども自身に発見してもらうという展開が最も理想的であると思います。このようにして、子どもは自ら体験することで、物事の道理を発見する喜びを知るようになるのです。

この例から、子どもの教育にとって正解を与えることが重要ではないことがお分かりいただけると思います。好奇心にしたがって、**自分の頭を働かせ、考えることが楽しいことだということをもっと体験してもらう**ことが大切なのです。その喜びをひたたび覚えると、子どもは自分でいろいろと考えるようになるのです。

上田 正仁 著；『東大物理学者が教える「考える力」の鍛え方～想定外の時代を生き抜くためのヒント～』p189・p190引用

学校では、今年度もたくさんの地域の皆様に、子供たちが体験する機会を設けていただきました。

安全な登下校のために、見守り隊の方々には一緒に歩いたり、道路を横断する際、声を掛けて見守ったりしていただきました。1年生は安全な歩き方を警察署の方から教わりました。2年生は生活科で校区のすてきを知るために、校区在住の手品のの上田さん、バルーンアートの吉本さん、西頭さん、村田さん、民謡の坂井さん、松井さん、斉田さん、ドッジボール日本代表の高松さんと出会いました。3年生は総合学習で干し柿の作り方を坂井さん、長澤さんから、福光地区の歴史や特産等について土居さん、石崎さん、上田さん、中塚さん、小原さんから教わりました。4年生は溝口さんのグループの方々のお蔭で、夜空に輝く土星などの美しい天体を自分の目で見る事ができました。5年生は米づくりを手取り足取り斎藤さんから教えていただきました。6年生は行燈づくりを通して、福光ゆかりの芸術家、棟方志功の技法を尾山さんから学びました。

子供たちが体験するために、寄り添っていただき本当にありがとうございました。子供たちにとって一つ一つの機会が学びの場です。例えば干し柿づくりの過程の学びから、「干し柿ってこうやってできているんだ」と感じた子供は、将来、身近な作物をみんなが喜ぶ食物に変えることを考えるかもしれません。子供たちが将来、たくましく生きていくための『考える力』を身に付けられるよう、それぞれの立場から子供たちに寄り添っていきましょう。今後もご理解とご協力をよろしく願います。

ジュニア科学賞・とやま」を受賞

2月15日(火)に富山市科学博物館で「第19回 ジュニア科学賞・とやま」の授賞式が行われ、本校の5年生、山越朋貴さんが表彰されました。この賞は優れた着想や粘り強い努力で自然科学分野の研究に取り組む県内の小中学生に贈られるもので、その3人のうちの1人に選ばれました。

山越さんは野球が上達する方法について科学的なアプローチで研究し、紙鉄砲を振り下ろしたときの音の鳴り方からボールをより早く投げるための手首の使い方を調べたり、バッティングティーの高さを変えながらボールの飛距離を計測して、打ちやすいボールの位置を調べたりした粘り強い努力が評価されました。

科学博物館には、山越さんの受賞内容について紹介するパネルが1年間設置されます。



縄跳び運動



3学期の業間運動では、週2回2つの学年がペアになって声をかけ合う縄跳び運動に取り組みました。感染症の流行に伴い、残念ながら、学年ごとの縄跳び運動を続けることに変更しました。「新しい技に挑戦しよう」「新記録を目指すぞ」と各自の目標を決めて、取り組んでいます。業間だけではなく、昼の休憩タイムにも自分から進んで一生懸命練習し、汗を流している子もたくさんいます。



1年生校外学習

1年生は、2月10日(木)に、砺波青少年自然の家へ出かけ、生活科「ふゆをたのしもう」の「ゆきやおおりであそぼう」の学習を行いました。2月初めまでは雪がありませんでしたが、直前の週末に多くの雪が降り、雪遊びができました。

雪でつくった坂をスノーチューブで滑りました。初めは怖がっていた子も、滑るうちに楽しくなり、みんなの笑顔があふれていました。「滑ると気持ちよかったよ」「ドキドキした」と言いながら、何度も滑っていました。また、グラウンドには、誰も踏んでいない新雪がありました。スノーチューブの後、雪の上に寝転んだり、みんなで雪合戦をしたりして遊びました。

雪の降る地域だからこそできる遊びを通して、楽しく遊べることを実感し、貴重な体験をすることができて、子供たちにとって素敵な思い出となりました。



【3月行事予定】



1	火	児童集会 一斉下校 14:55 学年末授業短縮期間	16	水	卒業式準備 12346 年下校 13:20・5 年下校 14:55
2	水	アルミ缶タワー積み大会 (赤・青) 全校一斉下校 14:55	17	木	卒業証書授与式 一斉下校 11:30
3	木	4年校外学習「能作」全校一斉下校 14:55			
4	金	5年校外学習「イタイタイ病資料館・四季防災館」 全校一斉下校 14:55	18	金	全校一斉下校 14:55 感染症の状況によっては、卒業式を含む行事の内容変更や中止等の対応を取らせていただく場合があります。
5	土				
6	日	育友会「親子で通学路を歩こう」 令和4年度 1年生～6年生 (現5年生)	19	土	
			20	日	
7	月	下校指導の日 家庭学習定着週間 (～13日)	21	月	春分の日
8	火		22	火	給食最終日 全校一斉下校 14:55
9	水	アルミ缶タワー積み大会 (黄・緑)	23	水	全校一斉下校 11:45
10	木	すこやかデー・ボランティアデー クラブ⑮ 1～3 年下校 14:55 4～6 年下校 15:45	24	木	修了式 全校一斉下校 11:45
			25	金	学年末休業開始 (～4月5日:火)
11	金	(育)会計監査	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	離任式 全校一斉 10:30
			29	火	令和4年度 始業式は4月6日(水) 入学式4月7日(木)です。 見守り隊 対面式4月26日(火)です。
14	月		30	水	
15	火	卒業式予行	31	木	

